

再チャレンジ

築こう、あなたと未来のふるさと。

山本みのるの市政報告 第3号

■発行所/山本みのる後援会
たつの市龍野町片山200-2
電話・FAX.0791-62-3556

クリーンな政治をします

ごあいさつ

～市議会議員就任4年目を迎えるにあたり～

たつの市議会議員 山本みのる



皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、平素より私どもの議員活動に深いご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

昨年4月より、市民の皆様のご意見を市政に反映させるため、全世帯約28,000戸を1年かけて訪問させていただき、今年3月中旬を持って終了することができました。

皆様方には訪問時や返信用葉書(約2,700枚)において貴重なご意見等をいただきありがとうございました。皆様方よりいただいたご意見等は次号、「山本みのるの市政報告」で報告させていただきます。

この1年間の活動のあらましをまとめ、私が感じたことなどを率直に述べた「山本みのるの市政報告」をお届けいたします。

市議会では通常3月・6月・9月・12月に定例会が開催され、一般質問を行いました。

◆平成28年9月の定例会

保育料の無料化について質問しました。

保育料は世帯の所得税合計額により決定されることから、働けば働くほど高額な保育料が必要となります。

本市の幼稚園・保育所・こども園の全てにおいて保育料を無料化し、保育料にかかる負担を軽減することで若者世帯が安心して子どもを養育できる環境を作ることが人口の確保につながるのではないのでしょうか。

【市当局より】 無料化の実施については、代替財源の確保や、更なる保育需要の発生に伴う様々な課題が想定されるため、慎重に検討する必要がある。との答弁でした。

◆平成28年12月の定例会

職員の研修について質問しました。

職員が兵庫県立大学大学院経営研究科を受験等するための費用を全額(約100万円)市が負担することが問題である。

本来なら大学院は自己負担で行くもので、税金を使ってまで行く理由もなく、たとえ税金を使って行ってもどれだけの知識を得て市に貢献できるのか疑問も残り、個人の大学院卒の経歴だけになりかねないと思われる。

【市当局より】 この派遣研修は、新たな視点での施策展開を行うために必要な最先端かつ高度な専門知識と人脈を取得させることを第一義としておりますので、通常の派遣研修と同様に市負担とする。との答弁でした。

◆平成29年3月の定例会

行革について質問しました。

平成29年度の予算において、公園用地費約3億1,200万円が計上されている。本市の都市公園は約60ヶ所もあり1人当たりの都市公園面積は16.02㎡/人、兵庫県の平均は10.8㎡/人であり、本市の公園は十分に充足している。

また、たつの市総合計画の中にも、整備実施計画もなく、たつの市緑の基本計画の中にあるものの、計画面積に約3倍もの違いがあり、計画性もない公園にしか思えない。

莫大な費用をかけてまで、早急に公園用地を買う必要性もなく、様々な方面から行革を実践している本市の現状に逆行する事業のように思われる。

【市当局より】 たつの市緑の基本計画に近隣公園新設候補地として位置づけ、記載をしています。また、補助採択を受け、有利な財政措置を受けられる。との答弁でした。

一言

これまでも一般質問等で、税金の無駄使いについて再三指摘もしてきましたが、一向に改善される気配も見受けられません。税金は市民からいただいたお金ですので、大切に使用していただきたいものです。今の体制では無理かも……

無駄使い

施設用地費の2重・3重払い？

平成29年度予算において、施設用地費7,680万円が計上されている。この用地は、昭和59年から平成28年までの33年間、借地料として約1億2,400万円を支払っている土地である。

この土地については借地権割合(6:4)があり、市は減額した割合で土地を購入するとしているが、同じ土地に2重の代金を支払うことは問題であると思われる。また平成29年度に売買契約交渉を進める中で、土地の借地契約を継続し月割計算で支払いをするようになってきていると聞いている。

このことからすると、借地料を払っていく契約としていることは問題であり、売買契約のみで進めるべきである。

この件につきまして、予算決算特別委員会で提案させていただき議員討議を行い、委員長報告として扱われました。

平等に…

企業立地の優遇措置

ある地域において、圃場整備を行った農振農用地を工場用地として使用することを進めている。

工場が拡張されることにより、地域雇用の拡大や税の増収が見込まれ、地元にとっても本市にとっても大きな業績である。

しかしながら、土地及び設備に係る奨励金(約8,000万円)や3年間の固定資産税の免除など、企業立地の優遇措置を受けられる企業に比して耕作地(面積3ha、稲作の収益換算で約600万円)が減少する農業団体に対して何ら優遇もされていない。

工場用地拡大を行政が後押しするのであれば、農業団体の収入減に対しても同様に補償や支援を行うべきである。

施政方針においても農業の活性化を明記されているのだから、例えば耕作量が復するまでの2、3年分の補償を行うなど、もっと農業団体に寄り添った支援や救済策の検討を要望しました。

平成30年度 山本みのる政策

1 市民が主役の市政

市民第一主義を徹底し、市民を主役にすべての施策を推進します。

2 公正・清潔な市政

公正さ清潔さは、市政を預かる者の基本の資質です。法令遵守は当然のこと、厳正な政治倫理に徹し公正に市政を運営します。

3 開かれた市政

情報公開から更に歩みを進め市民との「情報を共有」を推進。市民と行政が共にたつこのビジョンを語り合えるような、開かれた市政を実現します。

施策1 〈即実行するもの〉

- ◎出産費用に最大10万円の支援をします。
- ◎現在、中学校3年生までの医療費無料を高校3年生まで延長します。
- ◎現在、転入者50万円・若者30万円の住宅取得奨励金を最大100万円まで増額します。
- ◎市民乗り合いタクシー(高齢者等の200円の方)の無料化をします。
- ◎特別職の給与削減をします。
- ◎徹底して無駄使いをなくする行財政改革の実行をします。

施策2 〈時間のかかるもの〉

- | | | |
|-----------------------------|--------------------------------------|------------------|
| ◎保育料の無料化 | ◎本庁駐車場入口等のゲート撤去 | ◎幹線道路網の整備 |
| ◎給付型奨学金制度の創設 | ◎町並み保全地区の無電柱化 | ◎農林漁業の新たな支援 |
| ◎線引き廃止
(市街化区域と調整区域の区分廃止) | ◎中央幹線側に活性化ゾーンの設置
(山陽道から国道2号までの県道) | ◎教育施設の充実 |
| ◎都市計画税の廃止 | ◎スポーツ施設の整備 | ◎障がい者スポーツ普及促進 |
| ◎市民病院の指定管理者制度導入等 | ◎用悪水路の整備 | ◎海・山・川・歴史を生かした観光 |

山本みのる プロフィール

- | | | | |
|---------------|-------------------|-----------------------|------------------|
| ●昭和27年4月26日生 | ○昭和47年 旧龍野市奉職 | ○平成25年 たつの市防災監(顧問) | ◆西播磨サッカー協会理事長 |
| ●市立小宅小学校卒業 | ○平成19年 たつの市下水道部長 | ○平成25年10月 市長選挙 立候補し落選 | ◆たつの市体育協会副理事長 |
| ●市立龍野東中学校卒業 | ○平成21年 たつの市都市建設部長 | ○平成26年 4月 市議会議員 当選 | ◆たつの市スポーツ少年団副本部長 |
| ●県立龍野実業高等学校卒業 | ○平成23年 たつの市総務部長 | ○平成29年10月 再チャレンジ | ◆龍野フットボールクラブ代表 |

市政に対する皆様のご意見・ご要望・苦情について、お聞かせください。

FAX.0791-62-3556 メール yamamoto.426@rb4.so-net.ne.jp